

.....

館園名 : 市立大町山岳博物館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 1951 年 11 月 01 日

所在地

・ 〒398 -0002 長野県大町市大字大町 8056-1

公式サイト

・ <http://www.city.omachi.nagano.jp/sanpaku/>

設立主体

・ 大町市

運営主体

・ 大町市

設立目的

・ 山岳に関する資料ならびにこの地方における民俗、歴史その他の資料を収集して、保管又は展示し、一般の観覧に供し、本邦における山岳文化等の普及並びにこれらの資料の調査研究を行うための博物館を設置する。

展示概要

・ 人文系、自然系、図書系資料を収蔵。「山と人」「山岳の自然」をテーマとした常設展示を行う。動植物を飼育・栽培する付属園を併設している。

活動概要

- ・ 常設展示を保管するテーマで企画展示を実施。
- ・ 設立目的の沿ったテーマでの調査研究の実施。
- ・ 学芸員によるミニ講座、月刊誌などによる教育普及活動の実施。
- ・ 北アルプス山麓に生息している動植物の飼育、栽培、傷病鳥獣の受け入れ。
- ・ 展望室、喫茶室など。
- ・ 年報、「ゆきつばき通信」などの発行。

延床面積

・ 2,207 m²

全職員数（常勤職員）

・ 10 名（ 2005 年 1 月現在）

年間運営費

・ 71,790,194 円（2003 年度）

総資料点数

・ 15,028 点（ 2004 年 4 月現在）

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：明確な名称、組織はなし。

活動目的・経緯

- ・友の会活動のひとつとして実施している。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 名（ 年 月現在）
- ・ 男性： 名、女性： 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（ 2005 年 1 月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 1 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 教育普及活動の補助。
- ・
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・

関連する出版物

- ・ 友の会広報誌「ゆきつばき通信」（年四回ほど発行）。

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・

活動個別シート① 活動名：教育普及活動補助

◇活動開始年（西暦）

- ・ 年

◇活動人数

- ・ 名（ 年 月現在）

◇活動内容

- ・「小鳥の声を聞く会」「キノコ学習会」など行事の引率、あるいはトン汁などの提供。

◇活動日

- ・ 博物館の定めた行事日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 宿直室の一部を会員に提供。

◇運営（シフト 等）

- ・ 行事ごとにボランティアを募り、友の会運営部が把握し、館と連携する。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 月例会を友の会として月 1 回行い、情報交換等を行う。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 友の会会報誌「ゆきつばき通信」にて募集。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 特になし。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 特になし。

◇評価

- ・ 特になし。

◇課題と展望

- ・ 新しい展開でのボランティア計画をするとなると、博物館職員（学芸員）の負担が大きくなる。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 上田市立信濃国分寺資料館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1980年07月01日

所在地

- ・ 〒386-0016 長野県上田市大字国分 1125 番地

公式サイト

- ・ <http://museum.umic.ueda.nagano.jp/kokubunji/>

設立主体

- ・ 上田市

運営主体

- ・ 上田市教育委員会

設立目的

- ・ 上田小県地方の原始・古代の資料と全国の国分寺跡関係資料を収集・保管・研究する。

展示概要

- ・ 旧石器時代から奈良・平安時代までを中心に考古・歴史資料を展示、蘇民将来符関係資料も展示。

活動概要

- ・ 特別展、市民講座、史跡見学会、万葉研修会、親子歴史体験教室など開催。

延床面積

- ・ 2,004 m²

全職員数（常勤職員）

- ・ 5名（2004年12月現在）

年間運営費

- ・ 23,500,000円（2003年度）

総資料点数

- ・ 105,000点（2004年12月現在）

施設その他

- ・ 施設の老朽化が進み、順次機械設備等の更新を実施している。

2. ボランティア活動 名称：万葉植物園育成のボランティアの会

活動目的・経緯

- ・ 平成7年から史跡公園内の万葉植物園の植物の手入れ、植栽や万葉集の学習を目的に会が結成された。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 40名（2004年12月現在）
- ・ 男性：7名、女性：33名
- ・ 平均年齢 64歳：男性 65歳、女性 63歳

ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・ 部局名称：信濃国分寺資料館
- ・ 担当人数：常勤職員 2名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 万葉植物の手入れ・植栽（毎月2回・2時間程度活動）。
- ・ 万葉集の学習会（年5回）。
- ・ 見学旅行（万葉史跡や博物館を見学、年1回）。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 「上田地方の万葉植物」。

関連する出版物

- ・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・

活動個別シート 活動名：①万葉植物園育成ボランティアの会

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1995 年

◇活動人数

- ・ 40 名（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 万葉植物園の手入れ、植栽や万葉集の学習会を実施する。

◇活動日

- ・ 毎月 2 回（木・土曜日、2 時間程度活動）

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 80,000 円（年間）で用具・書籍などをそろえている。

◇運営（シフト 等）

- ・ 4 月に運営委員会を開催。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 連絡網をつくり電話で連絡。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 毎年 4 月に市の広報や新聞などで募集の呼びかけを行う。入会制度は特にない。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 研修会を年 5 回実施（万葉植物・万葉集について）。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に加入。
- ・ 特別展は無料で観覧できる。

◇評価

- ・ 会長を長く勤めた方には、市の表彰を検討している。

◇課題と展望

- ・ 会員登録をし、実際は年数回しか出来ない方もいるので、出席率を向上させることが課題である。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 上田市立博物館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1965年06月19日

所在地

- ・ 〒386-0026 長野県上田市二の丸3-3

公式サイト

- ・ <http://museum.umic.ueda.nagano.jp/hakubutsukan/>

設立主体

- ・ 上田市

運営主体

- ・ 上田市

設立目的

- ・ 上田地方の文化財などの収集及び展示。

展示概要

- ・ 上田地方の中世以降の歴史を通観できる歴史・民俗資料および自然資料を展示。

活動概要

- ・ 常設展・企画展。
- ・ 博物館講座・古文書講座・史跡見学会等。

延床面積

- ・ 683 m²

全職員数（常勤職員）

- ・ 3名（2004年12月現在）

年間運営費

- ・ 12,430,000円（2003年度）

総資料点数

- ・ 132,000点（2004年03月現在）

施設その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：博物館等施設展示解説ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 上田城跡公園内施設（博物館、上田城櫓、山本鼎記念館）を訪れる観光客等に対し、展示解説・案内を実施。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 15名（2004年10月現在）
- ・ 男性：9名、女性：6名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・ 部局名称：教育委員会、博物館
- ・ 担当人数：常勤職員 3名・その他（ ） 3名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 展示解説。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ なし。

関連する出版物

- ・ なし

関連するHP

- ・ <http://> なし

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ なし

活動個別シート 活動名：①博物館等施設展示解説ボランティア

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 15 名（2004 年 10 月現在）

◇活動内容

- ・ 展示解説。

◇活動日

- ・ 毎年 6 月～10 月の土曜日，日曜日の一部。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ なし。

◇運営（シフト 等）

- ・ 4 班に分かれ、1 日 4 人程度で行う。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 連絡ノートを作成。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 勉強会（机上、上田の歴史 博物館長）。
- ・ 研修会（現地、上田の歴史等 博物館長）。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 展覧会の優待券、図録の贈呈。

◇評価

・

◇課題と展望

・

◇その他

・

.....

館園名 : 軽井沢絵本の森美術館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1990年07月

所在地

〒389-0102 長野県北佐久郡軽井沢町塩沢風越公園 182-1

公式サイト

- ・ <http://www.astro.sendai-c.ed.jp/>

設立主体

- ・ 個人

運営主体

- ・ 株式会社ムーゼの森

設立目的

- ・ 西欧に端を発し300有余年の歴史に彩られた“絵本文化”は、同じく西欧の文化に育まれた軽井沢の歴史性と同化するもの、との考え方と、軽井沢らしさ（豊かな森林や高原植物、多くの文学作品の舞台となった叙情性）の再構築と、絵本や物語に登場する森への問題意識と再生が原点となっている。

展示概要

- ・ 春、夏、秋・冬と季節により企画展を開催。

活動概要

- ・ 展示、教育普及（展示説明やワークショップの開催）、地域内での文化施設の連携など。

延床面積

- ・ 1,073 m²

全職員数

- ・ 7名

年間運営費

- ・ 70,000,000円（2004年12月現在）

総資料点数

- ・ 6,500点（04年12月現在）

その他

- ・ 展示館2棟、図書館、ショップ2棟、ティールーム。
- ・ 姉妹施設：エルツおもちゃ博物館・軽井沢

2. ボランティア活動 名称：絵本の森ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 絵本や子ども文化に関わりの深い活動を行う。絵本の森で行うイベントを補助するなど。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 10名（2004年12月現在）
- ・ 男性0名、女性10名（2004年12月現在）
- ・ 平均年齢35歳（2004年12月現在）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：学芸係 担当人数：常勤1名・その他（ ）名

活動の種類

- ・ 絵本の朗読・読み聞かせ、ストーリーテリングのおはなし会の開催。
- ・ イベント補助。

活動その他

- ・ 活動参加者は、東京など他県在住者が多い。

関連する出版物

- ・

関連するHP

- ・ <http://www.museen.org/ehon/club/>

館外組織（NPO等）との連携

- ・ 軽井沢町図書館ボランティア

活動個別シート ①ボランティアのおはなし会

◇活動開始年

- ・ 2003年

◇活動人数

- ・ 9名（2004年12月現在）

◇活動内容

- ・ 絵本の読み聞かせ、ストーリーテリング、手あそびなどを行う。

◇活動日

- ・ 土・休日やGW、夏季を中心に随時。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 告知看板の設置、チラシの配布。

◇運営（シフト 等）

- ・ 担当学芸員が補助。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 年に2回ほど交流会を行う。個々の活動記録の開示による情報交換など。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ HPでの募集。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 募集時に活動を披露していただき、館の判断で登録している。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 昼食の提供、ボランティア保険加入。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ ボランティア相互および館員との交流機会を多くする。地域からの募集を多くする。

◇その他

- ・

活動個別シート ②イベントの補助

◇活動開始年

- ・ 2004年

◇活動人数

- ・ 1名（2004年12月現在）

◇活動内容

- ・ 主に学芸員が行うワークショップなどイベントの補助にあたる

◇活動日

- ・ 夏季の土・休日でイベントのある日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 年に2回ほど交流会を行う。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ ボランティア個人からの申し入れなので、特に募集をしたことがない。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 昼食の提供、ボランティア保険加入。

◇評価

- ・ 学芸員との連携がうまくいっている。

◇課題と展望

- ・ 関連のおもちゃ博物館などもあるので、より広い観点で個々の特性を生かしたボランティアの募集が課題。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 木曾郷土館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 1953 年 12 月 01 日

所在地

・ 〒397 -0001 長野県木曾郡木曾福島町大手 5814-1

公式サイト

・ <http://>

設立主体

・ 社団法人 木曾教育会

運営主体

・ 社団法人 木曾教育会

設立目的

・ 木曾の文化史上重要必須な資料を収集保存し、もって木曾文化の向上と進展に資する。

展示概要

・ 木曾で出土した考古資料、交通資料、古文書、民俗資料、島崎藤村初期本 41 冊、基礎教育会出版物、鳥類、昆虫、岩石、標本、美術品、藤村増、木曾馬（石井鶴三作）などを収蔵。

活動概要

- ・ 郷土館主宰の活動は特になし。資料室、美術室、図書室にわかれている。
- ・ 見学希望者に対して開館する。
- ・ 郷土遠足、親子の郷土遠足を開催（木曾郷土館以外の史跡を含む）。

延床面積

・ 約 83.0 m²

全職員数（常勤職員）

・ 2 名（ 2005 年 1 月現在）

年間運営費

・ 192,000 円（2003 年度）

総資料点数

・ 不明 点（ 年 月現在）

施設その他

・ 民家の土蔵を改築した建物で、非常に狭い。

2. ボランティア活動 名称：郷土遠足（一般人対象）、親子の郷土遠足

活動目的・経緯

- ・郷土の理解を深めてもらう。
- ・木曾教育会に加入している先生方の中の郷土館の委員が休日を利用して活動している。
- ・特に専門の職員がいるわけではないので、積極的な運営ができないのが現状。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 名（ 年 月現在）
- ・ 男性： 名、女性： 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（ 2004 年 月現在）

- ・ 部局名称： 郷土調査委員 親子の郷土見学遠足委員（いずれも教員）
- ・ 担当人数：常勤職員 各 5 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・一般対象は、ほかに藤村記念館などを訪ねる。
- ・児童対象は、山口村神坂などを尋ね、藤村について理解を深める。
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・一般人対象の遠足は、信濃教育会の生涯学習センターと協力したため、参加者が多かった。

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

.....

館園名 : 駒ヶ根シルクミュージアム

1. 施設の概要

開館年月日 (西暦)

- ・ 2002年4月27日

所在地

- ・ 〒399-4321 長野県駒ヶ根市東伊那 482 番地

公式サイト

- ・ <http://www.cek.ne.jp/~shiruku/>

設立主体

- ・ 長野県駒ヶ根市

運営主体

- ・ 長野県駒ヶ根市

設立目的

- ・ 伊那谷の主要な地域産業であった養蚕・組合製糸の歴史から最新のカイコの研究にいたるまで幅広い視点でシルクを紹介する。

展示概要

- ・ カイコの飼育の実演。
- ・ 郷土の養蚕・シルクの歴史の展示 (シルクの始まり・日本のシルク文化) (皇室のご養蚕)。
- ・ 人とシルクの関わり (横浜開港と養蚕業の発展、世界と日本のシルクロード、JICA の活動)。
- ・ 組合製糸を学ぶ (龍水社の創立、上伊那社の創立、龍水社・上伊那社に貢献した人々、製糸工場の繰糸工程)。
- ・ これからのシルクを知る (様々な絹織物、世界のシルク衣装、医療・美容の新素材の紹介)。
- ・ カイコの不思議を知る (カイコの生態の紹介、病原体の紹介)。
- ・ ミニシアター (カイコの不思議な世界、龍水社の歩み、観光駒ヶ根の放映)。

活動概要

- ・ 常設展示、特別展示 (年 2 回開催)・シルククラフト作品展の開催、シルククラフト・染物・機織の体験、ミュージアムショップでのシルク製品の販売。

延床面積

・ 総延床面積	2,330.76 m ²		
シルクミュージアム	990.53 m ²	体験工房	306.72 m ²
交流センター	1,033.51 m ²		

全職員数 (常勤職員)

- ・ 5名 (2005年01月現在)

年間運営費

- ・ 44,427,000 円 (2003 年度)

総資料点数

- ・ 1,500 点 (2005年01月現在)

施設その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：桑の実の会

活動目的・経緯

- ・ 2002年のシルクミュージアム開館にあたり、シルククラフト体験の指導者として登録し、体験作品の企画立案から研修・技術指導までを運営している。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 10名（2005年01月現在）
- ・ 男性：0名、女性：10名
- ・ 平均年齢 58歳：男性 0歳、女性 58歳

ボランティア担当職員（2005年01月現在）

- ・ 部局名称：体験工房担当
- ・ 担当人数：常勤職員 1名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ シルククラフト体験の技術指導（体験種目の企画立案含め）。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 館の指導により運営。代表者2名、会計2名を会員の中から会員が選出し、館長へ報告する。
- ・ 毎月第1・第3火曜日に研修会を開催し、技術のレベルアップを図っている。
- ・ 毎月1回企画会議を開催し、体験メニューの開発や企画立案に取り組んでいる。

関連する出版物

- ・ なし

関連するHP

- ・ <http://> なし

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ 隣接する農林業宿泊体験施設「駒ヶ根ふるさとの家」とタイアップして体験の受入を行っている。

活動個別シート 活動名：①シルククラフト体験の技術指導

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2002 年

◇活動人数

- ・ 10 名（2005 年 01 月現在）

◇活動内容

- ・ シルククラフト体験の技術指導。
- ・ シルククラフト体験種目の企画立案（新作品の開発）。

◇活動日

- ・ 4 月から 11 月の毎週土、日、祭日を中心に活動。
- ・ 予約がある場合は平日対応もする。
- ・ 8 月 13 日～16 日は毎日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 市で報償費（講師謝礼）として年間 800,000 円を計上している。
- ・ 体験工房の体験室及び会議室は、空いていれば自由に活用できる。

◇運営（シフト 等）

- ・ 通年メニュー、期間限定メニュー、講習会の開催等の年間計画に基づき担当者を事前に配置し、都合の悪い場合は個別の変更している。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 原則として毎月第 1・第 3 火曜日に定例会を開催し、意思の疎通を図っている。
- ・ 必要に応じて担当職員から連絡網を通じた連絡方法も活用している。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 毎年 3 月に現在登録されている会員の意向調査を実施し、欠員が生じた場合は、市報、マスコミ等を活用して募集している。
- ・ 資格・定年制等特に基準なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 毎月実施する定例会の中で、会員自らが交替で講師となり技術の向上、新作の開発等に取り組んでいる。
- ・ 年 1 回先進事例の視察研修を行っている。（全国のシルククラフト展等）

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 拘束時間（入館から退館まで）に応じて時給 700 円を支給している。

◇評価

- ・ 全国のシルククラフト展へは積極的に出展している。
- ・ 館内の作品展での表彰を検討している。

- ・ まゆクラフトの制作技術に関しては、かなりハイレベルに到達しつつある。

◇課題と展望

- ・ 体験者から体験費を徴収しているので、体験費で会の運営、材料調達、賃金の支払等の体験に関するすべての業務を委託できる組織になるよう強化したい。
- ・ まゆクラフトから絹等を活用した製作にも取り組ませたい。

◇その他

- ・ 毎年体験者が増加している。

.....

館園名 : 塩尻市立平出博物館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1954年11月03日

所在地

- ・ 〒399-6461 長野県塩尻市宗賀 1011-3

公式サイト

- ・ <http://www.shiojiri.ne.jp/~nomnom94>

設立主体

- ・ 塩尻市

運営主体

- ・ 塩尻市

設立目的

- ・ 国史跡平出遺跡の出土品の保存・公開のために、昭和 29 年「平出遺跡考古学博物館」設立。その後「歴史民俗資料館」（昭和 54 年開館）、「瓦塔館」（平成 4 年開館）が増築され、3 館を総称して「塩尻市立平出博物館」となる。

展示概要

- ・ 塩尻市内の遺跡からの出土遺物（土器、石器など）を主に展示。
常設展示室は「平出遺跡」、「塩尻の原始」、「塩尻の古代」、「塩尻の民族」の 4 つから成る。

活動概要

- ・ 考古学に関する企画展を年 2 回実施。
- ・ 講演会、小中学生対象の活動、「土器作り」や「発掘体験」などの体験学習。
- ・ 博物館起要、博物館ノート発行。

延床面積

- ・ 1,054 m²

全職員数（常勤職員）

- ・ 6 名（2005 年 1 月現在）

年間運営費

- ・ 15,539,000 円（2003 年度）

総資料点数

- ・ 50,000 点（2004 年 4 月現在）

施設その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：平出博物館友の会

活動目的・経緯

- ・ 平出博物館を通じて会員の知識の向上をはかると共に、博物館の種々の事業に協力するため、1992年に発足。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 41名（2005年 1月現在）
- ・ 男性：36名、女性：5名
- ・ 平均年齢60歳：男性61歳、女性57歳

ボランティア担当職員（ 年 月現在）

- ・ 部局名称：特になし
- ・ 担当人数：常勤職員 1名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ ①博物館各種行事への参加・協力。
- ・ ②博物館土産品の製作・販売。
- ・ ③古代作物（赤米・キビ・ソバ・ヒョウタンなど）の栽培。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 年に一度、総会を行う。
- ・ 会には会長、庶務会計、運営委員、編集委員、会計監事の役員を置く。

関連する出版物

- ・ なし

関連するHP

- ・ <http://> なし

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ 現在のところなし

活動個別シート 活動名：①博物館各種行事への参加・協力

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1992 年

◇活動人数

- ・ 約 10 名（ 年 月現在）

◇活動内容

- ・ 博物館行事への参加及びイベント時の交通整理等。

◇活動日

- ・ 行事開催時に活動。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 必要な備品等は博物館予算で購入。

◇運営（シフト 等）

- ・ 参加可能な者が随時行う。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 行事開催前に打合わせを行う。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 広報、ホームページなどに募集案内を掲載。
- ・ 資格：特になし。
- ・ 定年制、任期なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：②博物館土産品の製作・販売

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1992年

◇活動人数

- ・ 約5名

◇活動内容

- ・ 博物館内のミュージアムショップにて販売しているグッズ（主に勾玉）の製作。

◇活動日

- ・ 随時。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 必要な備品等は博物館予算で購入。

◇運営（シフト 等）

- ・ 参加可能な者が随時行う。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 年1回の総会にて売上を報告。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 広報、ホームページなどに募集案内を掲載。
- ・ 資格：特になし。
- ・ 定年制、任期なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 将来的には、勾玉作りをはじめとする体験学習を希望する来館者に対する指導者ボランティアへと発展させていきたい。

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：③古代作物（赤米・キビ・ソバ・ヒョウタンなど）の栽培

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1992 年

◇活動人数

- ・ 約 15 名

◇活動内容

- ・ 博物館畑での古代作物の栽培・収穫。

◇活動日

- ・ 随時。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 必要な備品等は博物館予算で購入。

◇運営（シフト 等）

- ・ 参加可能な者が随時行う。収穫物の一部は販売する。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 年 1 回収穫祭を開催。収穫物を食べる。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 広報、ホームページなどに募集案内を掲載。
- ・ 資格：特になし。
- ・ 定年制、任期なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 信州高遠美術館

1. 施設の概要

開館年月日 (西暦)

・ 1992 年 10 月 01 日

所在地

・ 〒396-0213 長野県上伊那郡遠山町大字東高遠 400 番地

公式サイト

・ <http://takato-a-m.web.infoseek.co.jp/>

設立主体

・ 高遠町

運営主体

・ 高遠町

設立目的

・ 高遠出身の原田政雄氏の収集作品を寄贈いただき、町所有の作品と合せて展示を行う施設と
いうことで設置された。

展示概要

- ・ 「原田コレクション」: 668 点(平櫛田中、木内克、福沢一郎、熊谷守一等)。
- ・ 「郷土作家」: (中村不折、池上秀畝、江崎孝坪)
- ・ 「郷土ゆかりの作家」: (平山郁夫、中川紀元、中村琢二等)

活動概要

・ 年数回の企画展と常設展を行うほか、ミュージアムコンサートやアートスクールなどを開催。

延床面積

・ 1,393.25 m²

全職員数 (常勤職員)

・ 1 名 (2005 年 01 月現在) 嘱託等 4 名 合計 5 名

年間運営費

・ 66,271,000 円 (2003 年度)

総資料点数

・ 約 1,200 点 (2005 年 01 月現在)

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：高校生ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 2004 年から活動をはじめたばかり。地元高遠高校芸術コースの生徒に感性を磨いたり、人間形成に役立ててもらえればと、美術館から学校へ呼びかけを行い、協賛いただき、生徒への募集となった。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 3 名（2004 年 04 月現在）
- ・ 男性： 名、女性： 3 名
- ・ 平均年齢 18 歳：男性 歳、女性 18 歳

ボランティア担当職員（2005 年 01 月現在）

- ・ 部局名称：信州高遠美術館
- ・ 担当人数：常勤職員 1 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 美術館展示室の監視。
- ・
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・

関連する出版物

- ・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・

活動個別シート 活動名：①美術館展示室の監視

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2004 年

◇活動人数

- ・ 3 名（2004 年 04 月現在）

◇活動内容

- ・ 観桜期の美術館が混み合う時に、監視員としてお手伝いいただく。

◇活動日

- ・ 観桜期の土、日曜日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ なし

◇運営（シフト 等）

- ・ 1 日 2 名程度で、日程調整を行う。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ なし

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 学校へ依頼。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ なし

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 今年初めて実施したため、活動いただいた生徒が少なかった。早めの呼びかけを行いたい。

◇その他

- ・

.....

館名 : 諏訪市博物館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1990年10月28日

所在地

・〒392-0015 長野県諏訪市中洲 171-2

公式サイト

・<http://www.city.suwa.nagano.jp/scm/>

設立主体

・諏訪市

運営主体

・諏訪市

設立目的

・諏訪市の歴史と文化を保護し十分に活用することと、市民の生涯学習活動により豊かな人間性を獲得することを目指すとともに、これらを通じて地域文化の担い手を育成することを目的とする。

展示概要

・諏訪の時間・自然・信仰の散策をテーマに、常設展示室 1 では、御柱祭に代表される諏訪信仰の発生と変化を、常設展示室 2 では、諏訪湖を取り巻く自然の中に生きる人々の暮らしぶりを象徴的に展示。他に世界のチョウを特別展示している。

活動概要

・企画展の実施。
・各種イベント・講座・講演会・ミュージアムコンサート等の実施。
・資料収集・整理・調査・研究・保存等の活動。

延床面積

・3,099 m²

全職員数（常勤職員）

・6名（2004年12月現在）

年間運営費

・約66,000,000円（2003年度）

総資料点数

・約51,200点（2004年3月現在）

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：諏訪市博物館友の会

活動目的・経緯

・会員の知識と郷土意識の向上をはかるとともに、博物館に協力し、会員相互の親睦を深めることを目的に、平成5年3月に設立。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 名（2004年12月現在） 友の会の人数が191名そのうちの有志が行う
- ・ 男性： 名、女性： 名 （男性113名、女性78名）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（※把握していないが、約60歳）

ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 名・その他（ ） 名
友の会事務局の庶務担当は臨時職員1名。ボランティアを依頼する場合は、担当の学芸員。

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 講習会・見学会などの開催。
- ・ 博物館が主催する特別展・企画展・講座・研修会などへの参加。
- ・ 会報などの発行。
- ・ 博物館活動への協力。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 上記のように、ボランティアを中心とした組織ではなく、友の会の活動の一環としてボランティアを行っている。
- ・ ボランティア活動においては、館からの要請をその都度受けて行うという単発的な活動が主である。

関連する出版物

- ・ 諏訪市博物館友の会会報（年1回）

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート 活動名：①資料整理・イベント補助

◇活動開始年（西暦）

- ・1993年

◇活動人数

- ・ 名（ 年 月現在）友の会のうちの有志が行う

◇活動内容

- ・館蔵資料整理。
- ・イベント補助。

◇活動日

- ・必要に応じて、館側が召集。不定期。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・博物館予算から友の会への補助金として48,000円。

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・友の会員については常時募集。
- ・ボランティア活動については、必要に応じて館側が募集。友の会員全員に通知し、有志に集まってもらう。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・整理方針や補助の内容について、初回時に説明。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・なし。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・継続的なボランティアがなかなか育たない。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 千曲市さらしなの里歴史資料館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1992年10月02日

所在地

・〒389-0812 長野県千曲市大字羽尾 247 番地 1

公式サイト

・<http://www.city.chikuma.nagano.jp/>

設立主体

・千曲市

運営主体

・千曲市

設立目的

・市内縄文遺跡出土資料を中心に展示・体験学習を実施し、地域における歴史教育・生涯教育を展開する機関として設置。

展示概要

・市内縄文遺跡出土資料を中心に、姨捨（おばすて）伝説関連資料を展示。メディアルームでは、縄文アニメーションドラマや姨捨伝説の切り絵映画を紹介する。

活動概要

- ・土器作り、飾り玉作り等の各種縄文体験コーナーを随時開催。
- ・文化講演会、縄文まつり（友の会ボランティア共催）を実施。
- ・紀要・展示概説書を刊行。

延床面積

・699 m²

全職員数（常勤職員）

・4名（2004年12月現在）（※非常勤職員1名）

年間運営費

・20,000,000円（2003年度）

総資料点数

・3,000点（2004年12月現在）

施設その他

- ・1ヘクタールの歴史公園に併設。
- ・平成16年9月1日市町村合併。

2. ボランティア活動 名称：さらしなの里友の会

活動目的・経緯

- ・市内縄文遺跡の発掘調査の成果を元に、当時の集落を復元整備した史跡公園と歴史資料館が建設され、これ等の社会資本を住民自らの手で守り、活用を促進し、さらに新たな文化創造を図る組織として、1992年に結成された。縄文まつりをはじめ、市内史跡整備・園内清掃等の事業を展開してきた。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 137名（2004年12月現在）
- ・ 男性：73名、女性：64名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（ ）名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 縄文まつりの開催。
- ・ 公園の清掃。
- ・ 史跡整備の実施。
- ・ 講話の開催等。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 青少年の健全育成に努める。
- ・ 年に1度総会を行う。

関連する出版物

- ・ 「さらしなの里友の会だより」の刊行（年2回）

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ 市内小学校・他のボランティア組織と連携して事業を実施している。

活動個別シート 活動名：①さらしなの里縄文まつり

◇活動開始年（西暦）

- ・1992年

◇活動人数

- ・80名（2005年1月現在）

◇活動内容

- ・ボランティア組織「友の会」を中心に縄文まつり実行委員会を結成し、縄文時代が満喫できる各種体験イベントを盛り込んだまつりを開催。10月最終日曜に開催され、4,500人の参加者が集う。

◇活動日

- ・10月最終日曜（年間約15日準備会を開催）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・まつり総額170万円で内70万円市補助。

◇運営（シフト 等）

- ・会議は夜に実施。

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・随時。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・資料館の入館料が減免され、館の催し等の情報提供がある。

◇評価

- ・来場者に好評を得ている。

◇課題と展望

- ・大勢の来場者を対象として拡大してきたが、人手不足となり質の低下が懸念される。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 千曲市森將軍塚古墳館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1997年04月15日

所在地

・〒387-0007 長野県千曲市大字屋代 29 番地 1

公式サイト

・<http://www.city.chikuma.nagano.jp/kofun/>

設立主体

・千曲市

運営主体

・千曲市

設立目的

- ・史跡森將軍塚古墳の保存と、資料の保存・公開。
- ・科野の里歴史公園の管理運営。

展示概要

- ・森將軍塚古墳石室のレプリカを中心に、出土遺物を展示。

活動概要

- ・小学生を対象とした講座の開催。
- ・市内古墳の調査。
- ・企画展の実施。

延床面積

・1,230 m²

全職員数（常勤職員）

・5名（04年12月現在）

年間運営費

・45,000,000円（2003年度）

総資料点数

・2,000点（02年4月現在）

施設その他

- ・森將軍塚古墳の管理。
- 科野の里歴史公園の管理。

2. ボランティア活動 名称：森将軍塚古墳友の会

活動目的・経緯

- ・1990年に森将軍塚古墳の保存と市民の古墳に対する意識の向上を目的に結成。年3回の草取りとイベントの補助を行う。1999年からボランティアガイドを実施。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・70名（04年12月現在）
- ・男性：45名、女性：25名
- ・平均年齢68歳：男性70歳、女性60歳

ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・部局名称：
- ・担当人数：常勤職員1名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・古墳の草取り。
- ・イベントの補助。
- ・古墳ガイド。
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・会員より会長を選出。
- ・年1回研修視察。

関連する出版物

- ・

関連するHP

- ・http://

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・森将軍塚まつり実行委員会により年2回おまつりを実施。

活動個別シート 活動名：①古墳の草取・イベントの補助

◇活動開始年（西暦）

- ・1990年

◇活動人数

- ・70名（2005年1月現在）

◇活動内容

- ・古墳の草取。
- ・イベントの補助。

◇活動日

- ・年3回及びイベント開催日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・年間100,000円（ガイド含む）。

◇運営（シフト 等）

- ・メンバー全員。

◇交流（情報、組織 等）

- ・年1回の研修。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・広報。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・年1回 博物館の視察。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・特になし。

◇評価

- ・特になし。

◇課題と展望

- ・メンバーの高齢化。

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：②古墳ガイド

◇活動開始年（西暦）

- ・1999年

◇活動人数

- ・35名（2005年1月現在）

◇活動内容

- ・古墳のガイド。

◇活動日

- ・土・日・祭日および春・秋の観光シーズン・夏休み。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・100,000円（古墳友の会全体）。

◇運営（シフト 等）

- ・午前・午後に分け1～4名。

◇交流（情報、組織 等）

- ・年1回研修会。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・広報。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・1月～3月に5回の研修。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・特になし。

◇評価

- ・特になし。

◇課題と展望

- ・メンバーの高齢化。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 茅野市尖石縄文考古館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 2000年07月20日

所在地

- ・ 〒391-0213 長野県茅野市豊平 4734-132

公式サイト

- ・ <http://www.togariishi.city.chino.nagano.jp>

設立主体

- ・ 茅野市

運営主体

- ・ 茅野市

設立目的

- ・ 史跡公園のセンターとして、市民参加型の教育機関を目指して開館。

展示概要

- ・ 国宝に指定された土偶（縄文のビーナス）、2000年出土の県宝仮面土偶など、2,000点あまりの縄文の遺物を展示。

活動概要

- ・ 土器・勾玉作りなどの縄文体験を実施。

延床面積

- ・ 2937 m²

全職員数

- ・ 9人

年間運営費

- ・ 約130,000千円

総資料点数

- ・ 約20,000点

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：尖石縄文考古館ワークショップ

活動目的・経緯

- ・ 2000年1月、新考古館オープンにつき新設。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 43名（2004年）
- ・ 男性：22名、女性：21名（2004年）
- ・ 平均年齢57歳：男性60歳、女性53歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局： 担当人数：常勤5名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①展示ガイド

活動その他

- ・

関連する出版物

- ・

関連するHP

- ・

館外組織（NPO等）との連携

- ・

活動個別シート ①展示ガイド

◇活動開始年

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 15 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 展示解説。

◇活動日

- ・ 特定の曜日に活動。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ワークショップ運営費として、年間 380,000 円を計上。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 館により運営。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 月 1 回例会を実施。
- ・ 情報紙「ワークショップニュース」。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 定期的に一般公募 (年度で切り替え)。
- ・ HP、広報、新聞などで募集。
- ・ 定年制、任期制なし。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 館が研修を実施。
- ・ 勉強会を実施。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入。
- ・ 展示ガイドをした方に、交通費程度の謝礼を進呈。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 例会に出席するので、なかなか展示ガイドができない。
- ・ 例会が主になりつつある。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 長野県立歴史館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1994年11月03日

所在地

- ・ 〒387-0007 長野県千曲市大字屋代字清水 260-6 科野の里歴史公園内

公式サイト

- ・ <http://www.npmh.net>

設立主体

- ・ 長野県

運営主体

・

設立目的

- ・ 展示や歴史情報の提供を行う総合情報、出土遺物を保存・公開する考古資料、行政文書や古文書を扱う文献資料の3部門が協力しあう複合館として開館。

展示概要

- ・ 長野県に関する考古資料、文献資料、展示資料、県史、県教育史等写真史料、図書資料、映像資料などを収蔵。
- ・ 各時代の様子を再現した実物大の環境復元模型を置く。
- ・ 屋外展示として、「縄文の森」「万葉の野」「中世の林」の植生を再現。

活動概要

- ・ 企画展示、講演会、研修会、講座、学習会を実施。
- ・ 館たより、ブックレット、展示図録、研究紀要を出版。

延床面積

- ・ 10,457 m²

全職員数

- ・ 35名

年間運営費

・

総資料点数

- ・ 321,176点

その他

・

2. ボランティア活動 名称：ボランティアの会

活動目的・経緯

- ・ 2003年7月、活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 27名（2004年）（※現在64名が登録）
- ・ 男性：10名、女性：17名（2004年）
- ・ 平均年齢24歳：男性35歳、女性18歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：学芸部 担当人数：常勤2名・その他（ ）2名

活動の種類

- ・ ①体験学習の指導、②古文書整理。

活動その他

・

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①体験学習の指導

◇活動開始年

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 34 名 (2003 年)

◇活動内容

- ・ 滑石を使った勾玉など石のアクセサリー作りの指導 (主に小学生対象)。
- ・ 折り紙、絵本の読み聞かせ。
- ・ 紙で作った鎧を着てみよう。

◇活動日

- ・ 小中学校の夏休み期間に実施。
- ・ 企画展の期間中。
- ・

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営 (シフト 等)

- ・ 館により運営。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 一般公募。
- ・ 近隣の中学校・高校を訪問する他、館内で広報する。
- ・ 定年制なし。
- ・ 年度ごとに登録。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 館が、事前講習会を 2 度実施。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 保険に加入。

◇評価

- ・ 館運営全体の評価表の中で評価している。

◇課題と展望

- ・ 完全な組織化をしていない。

◇その他

- ・

活動個別シート ②古文書整理

◇活動開始年

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 34 名 (2003 年)

◇活動内容

- ・ 古文書の整理、目録作り。
- ・ 赤外線カメラ判読。

◇活動日

- ・ 冬季の金土日曜日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 文房具は、館のものを使用。
- ・ 湯茶の道具を提供（茶葉は愛好会費より支出）。

◇運営（シフト 等）

- ・ グループ 5 班体制。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 各グループ毎に、3 日のうち半日ほど学習会。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 古文書愛好会員の中から、ある程度以上の古文書学習経験のある方を募集。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 館が研修会を実施。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 年度末に、薄謝を館より進呈。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 研修も兼ねているため、館職員による再点検を要する。

◇その他

- ・ 古文書愛好会（2002 年度設立、100 名）が担当。

.....
館園名 : 日本童画美術館 (イルフ童画館)

1. 施設の概要

開館年月日 (西暦)

・ 1998 年 04 月 18 日

所在地

・ 〒 394 -0027 長野県岡谷市中央町 2-2-1

公式サイト

・ <http://www.ilf.jp/>

設立主体

・ 岡谷市

運営主体

・ 岡谷市新興公社

設立目的

・ 岡谷市出身の芸術家、武井武雄の作品を中心に、日本童画の歴史を紹介し、多くの人々が集える心温まる交流の場をお届けするとともに、未来へ向けての児童文化を発信する。

展示概要

・ 向井武雄の作品や書籍、また日本の童画を収蔵。常設展示室にて展示。

活動概要

- ・ 上記の展示のほか、企画展示室では日本と世界の優れた童画と童画家を紹介する企画展示を行う。また、「はらっぱ」(絵本ライブラリー、ミュージアムショップ、喫茶ラムラム) などがある。
- ・ 武井武雄研究会、日本童画大賞の創設。
- ・ 「イルフ通信」の発行。

延床面積

・ 1,400 m²

全職員数 (常勤職員)

・ 7 名 (2005 年 1 月現在)

年間運営費

・ 円 (2003 年度)

総資料点数

・ 1990 点 (2003 年 3 月現在)

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：はらっぱあそび隊

活動目的・経緯

・子供に夢と喜びを与え、よいものを見て聞いて触れて育ててほしいという願いをもって、子供が成長したあとも思い出して懐かしんでもらえる活動を行う。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 24 名（ 2005 年 1 月現在）
- ・ 男性： 1 名、女性： 23 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（ 2005 年 1 月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 2 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 毎週日曜日午後二時からのイベント。
- ・ おはなしはらっぱの読み聞かせ、パネルシアター、テーブル人形劇など。
- ・ おあそびはらっぱの工作など。
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://www.ilf.jp/>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート① 活動名：おはなしはらっぱ、おあそびはらっぱの企画運営

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1998 年

◇活動人数

- ・ 24 名（ 2005 年 1 月現在）

◇活動内容

- ・ 日曜日に行うイベントの企画・運営を行う。
- ・ 各種イベントへの参加。

◇活動日

- ・ 日曜日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 活動費を計上。

◇運営（シフト 等）

- ・ 2～3 ヶ月に一度、はらっぱ会議を開催。

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ ホームページで随時。任期なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ パスポートを交付し、館への入館料を無料としている。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・ 小学生時代にイベントに参加していた児童が中学生になり、企画運営の補助スタッフとなっている。

.....

館園名 : 松本市立博物館 日本民俗資料館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1906年9月21日

所在地

- ・ 〒390-0873 長野県松本市丸の内4-1

公式サイト

- ・ http://www.city.matsumoto.nagano.jp/www_cbox/html/mcseum/hakshiritsu/hakshiritsul.html#top

設立主体

- ・ 松本市

運営主体

- ・ (財)松本市教育文化振興財団(2005年4月より、松本市の予定)

設立目的

- ・ 松本尋常高等小学校に設けられた明治37、8年戦役記念館が前身。1948年、松本市立博物館となる。1968年、新館(日本民俗資料館)を開館。松本まると博物館構想の基幹博物館。

展示概要

- ・ 1,500点におよぶ歴史・民俗資料で展示を構成。松本を中心とした原始古代から現代に至る歴史と、人々のくらしを歳時記で分かりやすく紹介。
- ・ 国指定重文・孔雀文馨、重民・七夕人形コレクション、農耕用具コレクション、民間信仰資料コレクションを常設展示。

活動概要

- ・ 特別展(年3回程度)、講演会、体験学習会を開催。
- ・ 館ニュース、展示解説図録、資料目録、調査報告書、特別展示図録、年報、紀要を出版。

延床面積

- ・ 3,593.25 m²

全職員数

- ・ 13人

年間運営費

- ・ 約130,000千円

総資料点数

- ・ 102,479点

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：エムの会

活動目的・経緯

- ・ 1997年7月、活動開始。
- ・ 1998年4月、改組。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 19名（2004年）
- ・ 男性：3名、女性：16名（2004年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：博物担当 担当人数：常勤1名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①伝統行事事業の企画開催、②機関誌の発送、③各主催事業の補助的活動、④常設展解説

活動その他

- ・ ボランティア団体が、保険・通信等の必要経費を会費として集めて運営。
- ・ 毎月第1水曜日に、定例会。
- ・ 主に口コミによる。
- ・ 定年制、任期制なし。
- ・ 館（年1回）、および会（年1回）が、実施。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①伝統行事事業の企画開催

◇活動開始年

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 19 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 伝統行事事業を、企画開催 (年 3 回)。

◇活動日

- ・ 4 月 3 日 (月遅れのひな祭り)、8 月 7 日 (月遅れの七夕様)、1 月 14 日 (まゆ玉サービス)。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 材料費として 70,000 円を計上。
- ・ 備品を館が購入。
- ・ ボランティア室 (友の会共用) と救護室を使用。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 企画等は、定例会で決定。
- ・ 当日は 3 交替制。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ②機関誌の発送

◇活動開始年

- ・ 1998 年

◇活動人数

- ・ 19 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 機関誌の発送業務 (隔月) を行う。

◇活動日

- ・ 奇数月の第 1 水曜日。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営 (シフト 等)

- ・

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 作業後に定例会を行う。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ③各主催事業の補助的活動

◇活動開始年

- ・ 2003年（※直近の事例）

◇活動人数

- ・ 20名（2003年）

◇活動内容

- ・ 特別展「世界大風呂敷展」会期中、風呂敷包み体験コーナーの指導を担当。

◇活動日

- ・ 7月19日～9月15日（8月13日～16日を除く）

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 資料等は、館が作成。

◇運営（シフト 等）

- ・ 午前午後、それぞれ2～4人で対応。
- ・ 人数が揃わない日は、職員が補充。

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 指導講習会を実施。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・ 荷が重かった様子だが、会員相互の交流が深まった。

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・ 他に、バス見学会の補助を実施（2004年度は7回実施）。2人ずつ添乗し、点呼、参加費徴収の手伝いをした。

活動個別シート ④常設展解説

◇活動開始年

- ・ 2004年

◇活動人数

- ・ 5名(2004年)

◇活動内容

- ・ 常設展示のうち、民俗部門の「松本歳時記」のコーナーで、各自の体験から観覧者との交流を行っている。

◇活動日

- ・ 不定期。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア室を控室として利用。

◇運営(シフト 等)

- ・ 各自、都合のよい日に自由に参加し、活動日誌に記入報告。

◇交流(情報、組織 等)

- ・ 作業後に定例会を行う。
- ・ 活動日誌あり。

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 活動開始前に、学芸員による研修会を実施。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・ 気軽に参加でき、他地域のことにも触れられると、会員には好評である。

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 棕鳩十記念館・記念図書館

* 記念館・図書館併設につき回答も分けないで記入の箇所(項)もある

1. 施設の概要

開館年月日(西暦)

- ・ 1992年08月09日

所在地

- ・ 〒395-1101 長野県下伊那郡喬木村 1459-2

公式サイト

- ・ <http://web.vill.takagi.nagano.jp/tw.htm>

設立主体

- ・ 喬木村

運営主体

- ・ 喬木村

設立目的

- ・ 棕鳩十の業績を顕彰し、広く教養・文化の向上に寄与するため。

展示概要

- ・ 棕鳩十の年譜・特徴・棕文学とその変遷・遺品・書画・写真・ビデオコーナー・書斎など。

活動概要

- ・ 記念館・ギャラリー。
- ・ 視聴覚室などでの特別展、テーマ展。
- ・ 夏期講座。
- ・ 顕彰会の活動。

延床面積

- ・ 116㎡ ・ギャラリー 100㎡ ・視聴覚室 150㎡

全職員数(常勤職員)

- ・ 2名(2004年12月現在)(記念図書館と合わせ)

年間運営費

- ・ 円(2003年度)

総資料点数

- ・ 2,000点(2004年12月現在)

施設その他

- ・ ロビーの部分改造を検討中。

2. ボランティア活動 名称：顕彰会「ふるさとの会」

活動目的・経緯

- ・ 棕鳩十の顕彰。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 38名（2004年12月現在）
- ・ 男性：26名、女性：22名（編集者注：総計が合わない）
- ・ 平均年齢 70歳：男性 68歳、女性 72歳

ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 2名・その他（ ） 2名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ ①棕文学の顕彰。
- ・ ②棕文学の学習・読み合わせ。
- ・ ③行事への参加。
- ・ ④棕文学公園・散策路・生誕地等の美化。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・

関連する出版物

- ・ なし

関連するHP

- ・ <http://> なし

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ なし

活動個別シート 活動名：①顕彰会「ふるさとの会」

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1992年

◇活動人数

- ・ 38名（2004年12月現在）

◇活動内容

- ・ ①棕文学の顕彰。
- ・ ②棕文学の学習・読み合わせ。
- ・ ③行事への参加
- ・ ④棕文学公園・散策路・生誕地等の美化。

◇活動日

- ・ 月二回。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 会費。

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・ なし

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 広報誌による募集を行う。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 学習会・読み合わせ会・見学会。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 高齢化につき若がえりを。

◇その他

- ・